

## 2017 年度 PC 実技第 2 問

／こんにちは。え～、今日は、漁村や漁業についてのお話をさせていただきたいと思います。よろしくお願いま～す。

はい、え～、みなさん、都市漁村交流という言葉聞いたことはありますか？

都市と漁村の交流。都会に住んでいるみなさん、あるいは消費者のみなさんと、漁村に住んでいる人たち、あるいはそれを漁村で生産をしている人たち、その交流ということなんですね。

いや～そんな経験ないよ、って、もしかしたら思われるかもしれませんが、え～、例えば、港でとれたてのお魚を食べる、ですとか、あるいは、競りを見学する、あるいは、漁師さんの船に乗せてもらって、海の上で漁業を体験するとか、それから漁村のクルーズということもありますよね。

それから、海水浴に行って、漁師さんがやっている民宿に泊まったことありますか？

はい、え～そういうことも含めて、都市漁村の交流というふうに言っています。

で、それは、ツーリズム、観光であったり、飲食であったり、いろいろな形態がありますがけれども、都市と漁村の交流で、都会の人も楽しい。で、魚損の人も都市の人と交流して、あ～漁村っていいね～って言ってもらって嬉しいですとか、あるいは水産物で買っていただいてお金が入るとか、そういった仕事にも生活にもつながっていくわけですね。

で、では、その都市漁村交流において、漁師さんたち、漁村の人たちが、なぜそういうことをしているのか。その交流によって、どんなふうに漁村が変わっているのかというところを少し数字で具体的に見ていきたいと思います。

え～まず最初に、それでは日本の漁業の現状がどんな状況になっているのかということを見なさん、具体的にご存じでしょうか？

数字でちょっと見ていきたいと思います。まず、漁港の数。いくつあるでしょう？

だいたい 3000 あるんですね。みなさん、3000 ですよ。日本の海岸線の総延長は、世界で何位だと思いますか？第 6 位なんです。それだけ長い海岸線に、漁港が 3000。そして漁村の数は、ほぼ 6000 あります。つまり、5 キロか 6 キロの間に 1 つ漁村があって、その漁村 2 つに漁港が 1 つある。すごいですね。日本の沿岸には、それだけ星の数のような漁港がちりばめられている。

で、もっと大事なのは、日本は縦に長い地形ですね。なので、北海道から沖縄まで、いろいろな自然環境の中で、いろいろな種類のお魚がとれて、さまざまな伝統的な漁法がある。そして、漁村の文化や魚を食べる文化があるということが、日本は本当に素晴らしい、世界に誇れるって、いわれているんですね。

では、漁業の生産量を見ていきましょう。平成 28 年度の農林水産庁の統計の数字です。え

～1年間に436万トン。といわれてもピンとこないかもしれませんが、今までのピークが1984年に1300万トンありましたので、436万トンは、もう半分以下。3分の1近いということが言えますね。現在、それぐらい漁業の生産量は減ってしまっています。では、漁業の生産額はどうでしょうか。28年度、1兆6千億円でした。ピークは1982年の約3兆円ですので、これも半額になっているということですね。